



水道の広域化、民営化～持続可能な水道を考える

2015年3月の大阪市議会で、水道民営化条例案が否決。2016年2月に修正案が提案されましたが、継続審議扱いとなり、2017年3月に廃案。

また、水道の基盤強化策として、コンセッション方式の制度化、広域化推進などの内容を含む、水道法改正法案が国会で継続審議となっています。

住民の大切なライフラインである水道は、自治体の財政と住民が支払う水道料金により、発展してきた歴史のある地域住民の財産です。また、日本の水道事業の技術力は世界最高水準にあります。しかしながら、巨大地震への対応、水道水源の監視・環境保全、水道管や浄水場などの老朽化施設の更新などの課題が山積み、水道料金を主な財源とすることの限界が明らかになってきています。

民営化されれば、利潤を生みだすことが最優先となり、安全が軽視されはしないのか？経費削減のために、ライフラインの守り手であるはずの人員体制を縮小し、一方で広域化して大丈夫なのか？

一日たりとも欠かせない命の水を供給する水道のあり方について、市民自らが真剣に考えるべき時がきています。

本シンポジウムでは、各分野からご報告、問題提起をいただくとともに、持続可能な水道のあり方について、皆様とご一緒に考える場とします。

開催日時 2018年11月3日(土) 13:30~16:15 (受付開始 13:15)

会場 奈良商工会議所 AB会議室

報告 改正水道法と住民本位の水道 自治労連公営企業評議会 事務局長 近藤 夏樹 さん

奈良県の水道広域計画-奈良県『県域水道一本化』 奈良自治労連特別執行委員 小峠 憲司 さん

奈良市の水道コンセッション 奈良水道労働組合より

大阪市における水道コンセッション NPO法人AMネット 武田 かおり さん

大阪広域水道企業に統合した市町村の現状 大阪府四條畷市議会議員 岸田 あつこ さん

コーディネーター 仲上 健一 立命館大学政策科学部特別任用教授

主催 近畿水問題合同研究会 後援 奈良自治体問題研究所

(お問合せ先) 大阪市北区天神橋 1-13-15 グリーン会館 4階 大阪自治労連 公営企業評議会

TEL 06-6354-7201 FAX 06-6354-7206 e-mail:s_suirou@yahoo.co.jp

